

CASBEE 広島 2016年版
【仮称】広島市東区光町2丁目分譲マンション

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					3.0
Q1 室内環境			0.40	-	3.1
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-
2 温熱環境		2.2	0.35	3.1	1.00
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.3	0.50
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63
2 外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」等級4確保	1.0	0.38	4.0	0.38
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30
3 光・視環境		2.4	0.25	3.5	1.00
3.1 昼光利用		3.0	0.30	4.0	0.50
1 昼光率	住戸の昼光率を2.0%以上確保	3.0	0.60	5.0	0.50
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.50
1 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00
3.3 照度		3.0	0.15	-	-
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-
4 空気質環境		3.6	0.25	3.3	1.00
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63
1 化学汚染物質	室内に使用する建築材料は全ての(F☆☆☆☆)を採用	4.0	1.00	4.0	1.00
4.2 換気		3.0	0.40	2.3	0.38
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能		3.0	-	1.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33
4.3 運用管理		-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-
1 機能性		2.3	0.40	3.8	1.00
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	5.0	0.60
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-
2 高度情報通信設備対応	1Gbitクラスのプロードバンドが利用可能な環境を整備	3.0	-	5.0	1.00
3 バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保	維持管理の機能を確保	4.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数	日本住宅性能表示基準「劣化対策等級」等級3を確保	5.0	0.20	-	-
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	期待耐用年数40年以上を使用	5.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		2.2	0.20	-	-
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.960mm	3.0	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能評価「5-1断熱等性能等級」等級4確保	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.82	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水型水洗・便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能となっている	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	建築物断熱用吹付硬質ウレタンフォームA種1Hを採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車・駐輪台数の確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満足、広告物照明設置無し	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	